

自己評価報告書(最終報告)

報告者

学校・学級経営コース
／兼松 儀郎

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

科学研究費については、平成17年度以降連続して採択され、この間、中等教育を一貫する道德教育の内容構成と指導方法、社会的自立を促す高等学校道德教育、生きる意味の哲学的探究を根幹にすえた高等学校道德教育を課題として研究を遂行してきた。これまでの研究成果を踏まえ、今後さらに中等教育における道德教育について研究を進めていく予定である。

2. 点検・評価

○中等教育における道德教育に関するこれまでの科学研究費による研究成果を整理し、今後の研究計画を立案し、研究に着手した。
○3月末の定年退職にともない、平成25年度以降の科学研究費申請は行わなかった。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

教職大学院学校・学級経営コースにおいては、これまで定員が充足されてきた。本年度は、修了生を通じた広報活動に努めるとともに、学外の研修会等において教職大学院の教育内容・教育方法について情報提供を行い、定員充足を教職大学院全体の課題として取り組んでいきたい。

2. 点検・評価

○修了生を通じて、教職大学院での学修成果について意見聴取を行うとともに、広報活動に努めた。
○学外の研修会において、教職大学院の特徴を説明するなど、広報活動を行った。
○大学訪問を行い、教職大学院を中心に本学大学院での教育内容・教育方法などについて積極的に情報提供を行った。

II. 分野別

II-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

○学部の学生については、実践的指導力の育成を目指し、授業内容を工夫するとともに、教育行政の経験を生かし、教員として求められる資質・能力の育成を図る。
○教職大学院の学生については、学校課題に関する研究能力を伸ばすとともに、学校の中堅教員や教育行政職員として求められる能力の涵養を図る。また、実習校との連携を深め、学校課題フィールドワーク・異校種フィールドワークの円滑な実施に努める。また、大学院生の研究推進上の悩みについても、その都度適切な対応に努める。

2. 点検・評価

○学部の授業「道德教育指導論」については、まず、道德教育の基礎的理解を深め、次いで学習指導案の作成など実践的指導力の育成を図り、最後に道德教育の現代的課題についての具体的理解を促した。また、教職や教育行政の経験を生かし、教員として求められる資質・能力の育成を図った。
○教職大学院の学生については、「人間の成長と道德教育」「教育政策と教育行政」などの授業を通じて学校課題の把握と解決に向けた研究能力の伸長を図った。また、学校訪問等を通じて実習校との連携を深め、実習の円滑な実施に努めた。
○ゼミ学生について、研究課題に基づく学校課題フィールドワークへの取組、中間発表会でのプレゼンテーション、最終成果報告書の作成、大学院での研究方法などについて、計画的に指導し、実践研究の成果を確実なものとした。

II-2. 研究

1. 目標・計画

○中等教育における道德教育について、国内外の資料収集を行い、研究を進める。
○論文発表、学会発表等を積極的に行う。

2. 点検・評価

○中等教育における道德教育について、教員研修会における協議や学会活動を通じて課題を明確にするとともに、関連する資料の収集を行い、研究を進めた。
○The 7th Annual Conference of The Asia-Pacific Network for Moral Educationに参加し、論文発表を行った。(6月、台湾: 国立中正大学)

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- 学内委員会における職務の遂行に努める。
- 教職大学院の専任教員として、教育研究活動の充実に努める。
- 連合大学院の教育研究活動の充実に努める。

2. 点検・評価

- 学内委員会における職務の遂行に努めた。
- 教職大学院の専任教員として、学校課題フィールドワーク、異校種フィールドワークの指導をはじめとして、教育研究活動の充実に努めた。
- 連合大学院において、研究指導、論文査読等、教育研究活動の充実に努めた。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- 附属学校における実践研究の充実に向けて協力する。
- 徳島県立総合教育センターの事業運営に協力する。
- 学外の研修会等の講師依頼には、できるだけ要望に応じる。
- 海外の学術協定大学等との研究交流を深める。

2. 点検・評価

- 附属学校教員と大学教員との共同研究体制づくりに参画している。具体的には、附属小学校における合同研究会に参加するとともに、道徳の研究推進授業に向けた個別研究会や校内授業研究会での協議など、共同研究を進めている。(5月～3月)
- 独立行政法人教員研修センター主催「道徳教育指導者養成研修」(北海道・東北ブロック)の講師を務めた。(8月)
- 文部科学省研究開発学校の兵庫県立加古川北高等学校の研究推進に、運営指導委員会分科会委員として寄与した。(5月～1月)
- 島根県教育委員会主催「県立学校道徳教育担当者研修」の講師を務めた。(5月)

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)